

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
美藤 信也			

授業のねらい（概要）	本授業では、DPに記載のある調査・研究のために必要となる様々なスキルを身につけ、企業や産業が直面する諸課題に対し、高度な判断能力、分析能力を身につけます。また、実践的な問題解決能力及び、管理運用能力を養い、知識共盤社会を支える高度で知的な素養を養成します。詳細な内容として、最初に学部で学んだ広告の知識を再確認します。次に、広告とマーケティングの関係を踏まえてから、さまざまな広告媒体を見ていきます。さらに、現在の広告媒体で注目されているインターネットと広告やソーシャルメディアとマーケティングを取り上げた後、広告戦略の立案の仕方を学びます。さらに、ブランド戦略と広告等の高度で重要なテーマを幅広く習得します。そして、各履修者が修士論文を作成するために必要な広告に関する基礎力と応用力を身に付けます。
授業計画	第1回 ガイダンス（①本講義の進め方・評価の仕方、②広告特論で何を学ぶか。） 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第2回 マーケティングと広告 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第3回 広告とは何か 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第4回 広告媒体の種類① 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第5回 広告媒体の種類② 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第6回 インターネットと広告 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第7回 ソーシャルメディアと広告① 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第8回 ソーシャルメディアと広告② 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第9回 広告戦略の立案① 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第10回 広告戦略の立案② 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第11回 ブランド戦略と広告① 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第12回 ブランド戦略と広告② 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第13回 グローバル広告① 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第14回 グローバル広告② 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分） 第15回 まとめ 予習：授業前に配布されたプリントや資料等を読んでおくこと。（60分） 復習：授業で活用したプリントや資料等を理解しておくこと。（60分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	①調査・研究のために必要となる様々なスキルを身につけ、企業や産業が直面する諸課題に対し、高度な判断能力、分析能力を活用することができる。 ②実践的な問題解決能力及び、管理運用能力を養い、知識共盤社会を支える高度で知的な素養を身につけている。
到達目標	①広告に関する最新のテーマを幅広く基礎的知識から高度な専門知識まで修得すること。 ②各履修者が、修士論文を作成するために必要な広告に関する事柄を身に付け、修士論文の作成を目指す。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テストなどの全体的な注意点などは、授業内で解説する。

履修上の注意	各履修者の積極的な授業での取り組みや発言を期待します。
成績評価の方法・基準	レジユメの発表、プレゼンテーションの内容及びレポートの課題等で総合的に評価する。
教科書	
参考書・教材	
備考	講義科目
教員との連絡方法	メール（アドレスは、授業内で周知）